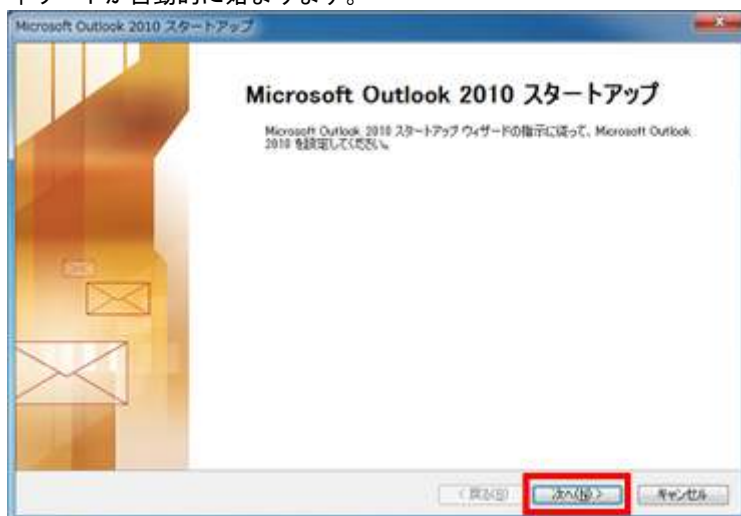


5 - 6 Microsoft Outlook 2010 の設定方法

※『アカウント ID 通知書』をご用意下さい。

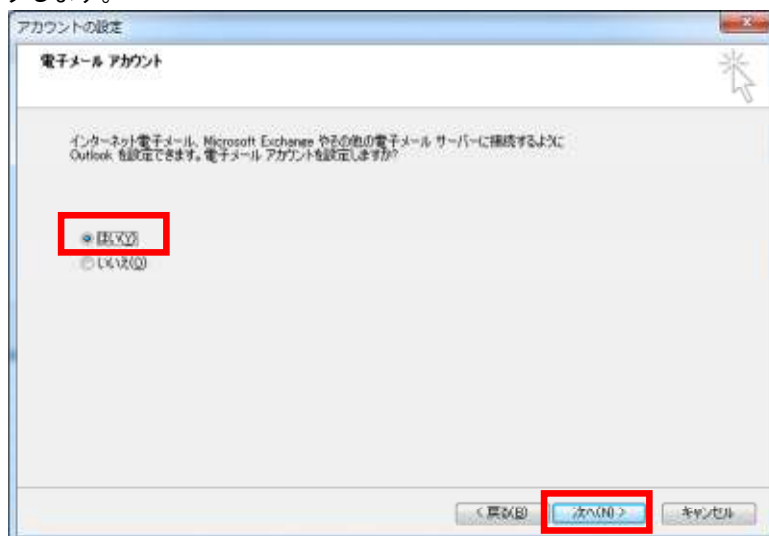
(1) 電子メールアカウントの作成

- デスクトップ上の「スタート」から「すべてのプログラム」を選択し、「Microsoft Office」をクリックし、「Microsoft Office Outlook 2010」をクリックするとスタートアップウィザードが自動的に始まります。

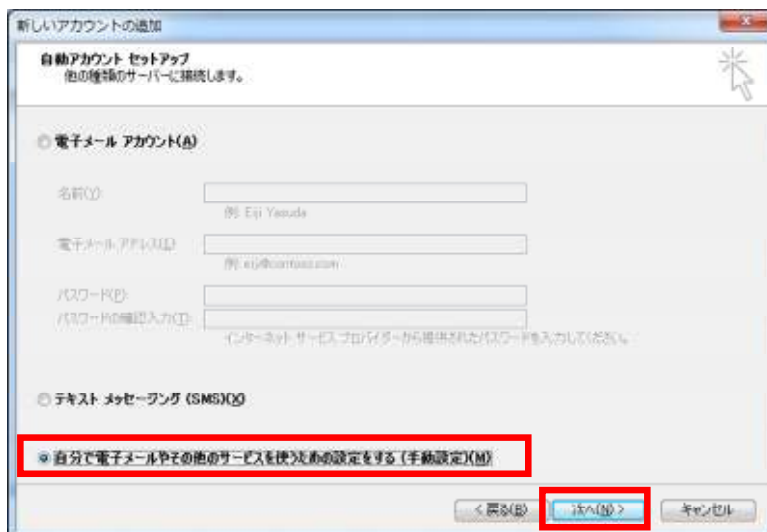


「次へ(N) >」 ボタンをクリックします。

- 「アカウントの設定」ダイアログで「はい(Y)」を選択し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。

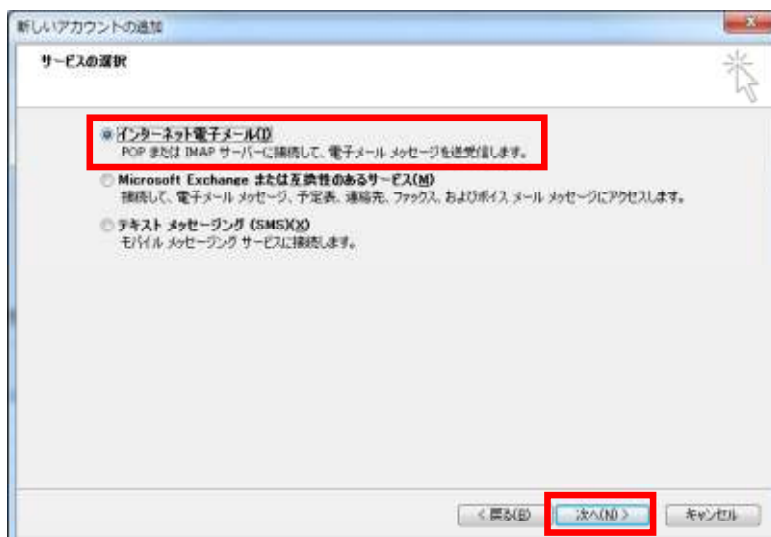


- 「新しいアカウントの追加」ダイアログでは以下のように設定します。

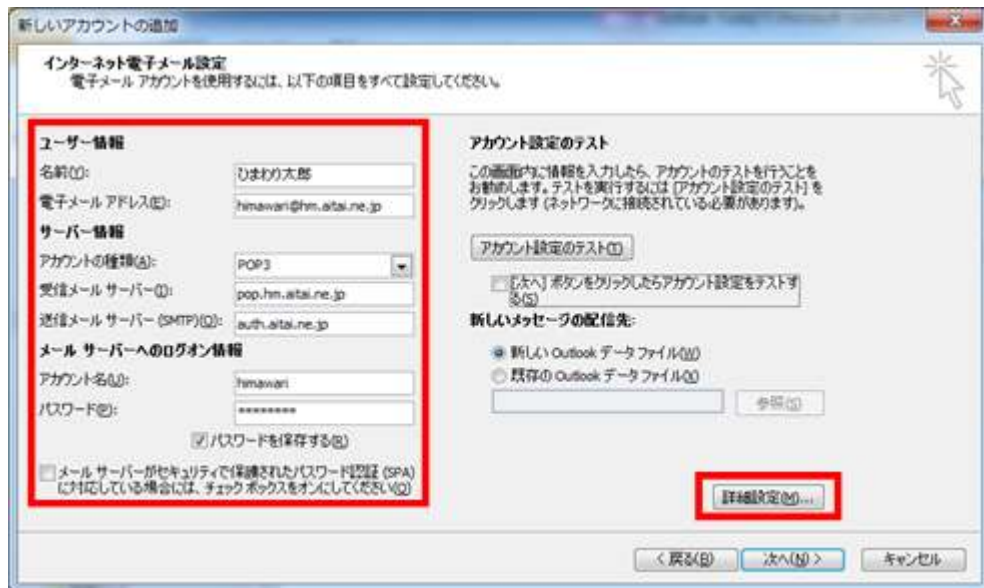


「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)(M)」を選択し、「次へ(N) >」ボタンをクリックします。

- 「サービスの選択」ダイアログで「インターネット電子メール(T)」を選択し、「次へ(N) >」ボタンをクリックします。



- 「インターネット電子メール設定」のダイアログでは以下のように設定します。入力後、「詳細設定(M)...」ボタンをクリックします。



「ユーザー情報」の枠内

- ① 「名前 (Y):」の欄
→ お客様にてご自由に入力して下さい。
例) ひまわり太郎
- ② 「電子メール アドレス (E):」の欄
→ ※『アカウント ID 通知書』内「メールアドレス」を入力します。
例) himawari@hm.aitai.ne.jp
- ③ 「アカウントの種類 (A)」の欄
→ 「POP3」を選択します。

「サーバー情報」の枠内

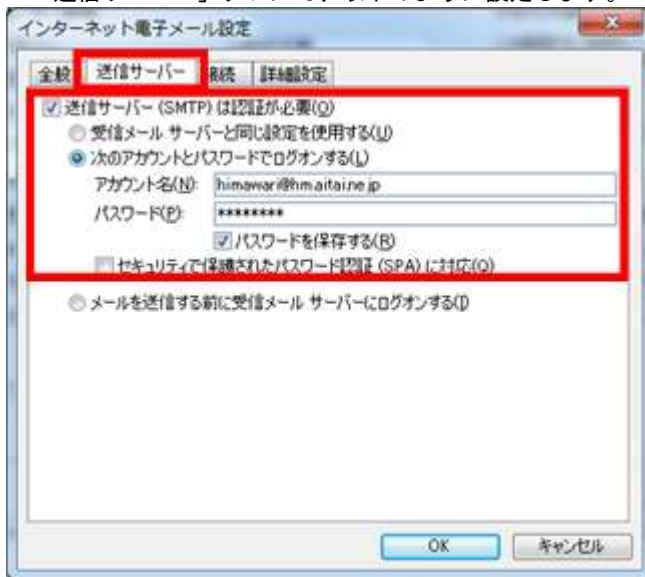
- ④ 「受信メールサーバー (I)」の欄
→ ※『アカウント ID 通知書』内「受信メールサーバ (port110)」を入力します。
例) pop.hm.aitai.ne.jp
- ⑤ 「送信メールサーバー (SMTP) (O)」の欄
→ ※『アカウント ID 通知書』内「送信メールサーバ (port587)」を入力します。
例) auth.aitai.ne.jp

「メールサーバーへのログイン情報」の枠内

- ⑥ 「アカウント名 (U)」の欄
→ ※『アカウント ID 通知書』内「アカウント名」を入力します。
例) himawari
- ⑦ 「パスワード (P)」の欄
→ ※『アカウント ID 通知書』内「パスワード」を入力します。
- ⑧ 「パスワードを保存する (R)」の欄
→ チェックを入れます。
- ⑨ 「メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合にはチェックボックスをオンにしてください (Q)」の欄
→ チェックしません。

- ⑩ 「詳細設定 (M)...」ボタンをクリックします。

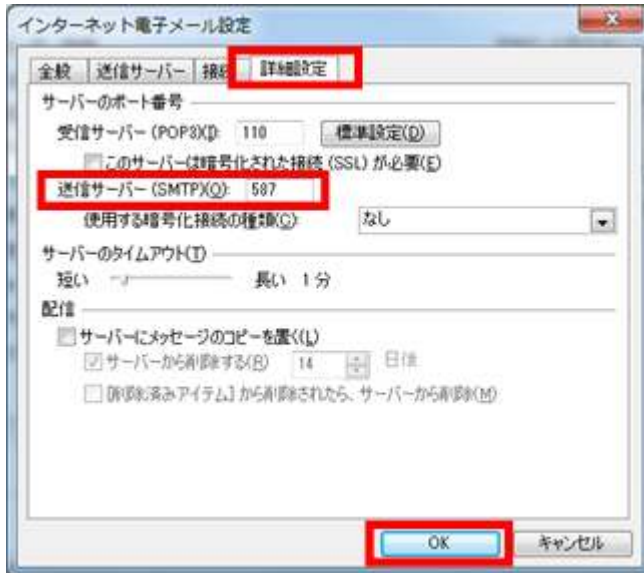
■ 「送信サーバー」タブにて、以下のように設定します。



- ① 「送信サーバー (SMTP) は認証が必要 (O)」の欄
→チェックを入れます。
- ② 「アカウント名 (N)」の欄
→※『アカウント ID 通知書』内「メールアドレス」を入力します。
例) himawari@hm.aitai.ne.jp
- ③ 「パスワード (P)」の欄
→※『アカウント ID 通知書』内「パスワード」を入力します。
- ④ 「パスワードを保存する (R)」の欄
→チェックを入れます。
- ⑤ 「セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応 (Q)」の欄
→チェックしません。

入力しましたら、「詳細設定」タブをクリックします。

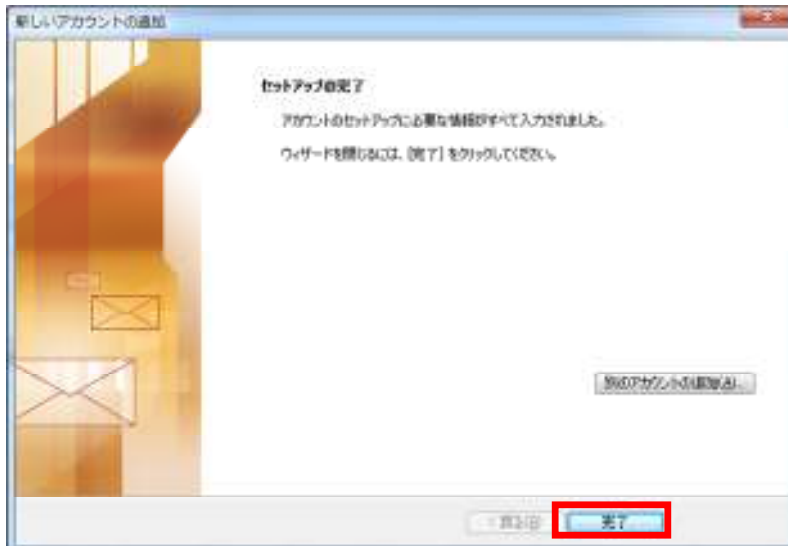
- 「詳細設定」 タブをクリックし、以下のように設定します。



- 「サーバーのポート番号」の枠内
- 「受信サーバー (POP3) (I):」の欄
→ 110 と入力します。
- 「このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要 (E)」の欄
→ チェックしません。
- 「送信サーバー (SMTP) (O):」の欄
→ 587 と入力します。

入力しましたら、OK ボタンをクリックします。
「新しいアカウントの追加」に戻りますので、「次へ (N)>」をクリックします。

- 「セットアップの完了」の画面が表示されます。



「完了」 ボタンをクリックし、電子メールアカウントの作成を終了します。

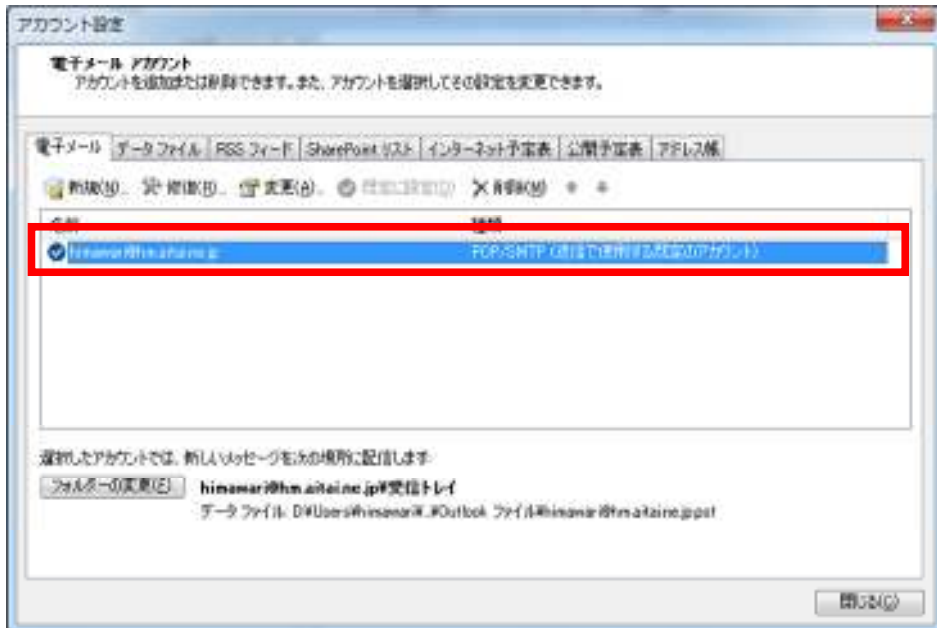
(2) 電子メールアカウントの設定確認

※既に設定した値を変更する場合も以下の手順となります。

- 「Microsoft Office Outlook」の左上メニュー「ファイル」内の情報欄、アカウント設定のボタンにある「アカウント設定(A)...」を選択します。



- 「アカウント設定」画面より、設定を確認したいアカウントをダブルクリックします。



- 「アカウントの変更」ダイアログで入力内容を確認し、「詳細設定(M)」ボタンをクリックします。

「ユーザー情報」の枠内

- ① 「名前(Y):」の欄
例) ひまわり太郎
- ② 「電子メールアドレス(E)」の欄
→※『アカウント ID 通知書』内「メールアドレス」をご覧ください。
例) himawari@hm.aitai.ne.jp

「サーバー情報」の枠内

- ③ 「アカウントの種類(A)」の欄
「POP3」となっていることを確認します。
- ④ 「受信メールサーバー(I)」の欄
→※『アカウント ID 通知書』内「受信メールサーバ (port110)」をご覧ください。
例) pop.hm.aitai.ne.jp
- ⑤ 「送信メールサーバー(SMTP)(O)」の欄
→※『アカウント ID 通知書』内「送信メールサーバ (port587)」をご覧ください。
例) auth.aitai.ne.jp

「メールサーバーへのログオン情報」の枠内

- ⑥ 「アカウント名(U)」の欄
→※『アカウント ID 通知書』内「アカウント名」をご覧ください。
例) himawari
- ⑦ 「パスワード(P)」の欄
→※『アカウント ID 通知書』内「パスワード」をご覧ください。
- ⑧ 「パスワードを保存する(R)」の欄
→チェックを入れます。
- ⑨ 「メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証(SPA)に対応している場合にはチェックボックスをオンにしてください(Q)」
→チェックを外します。

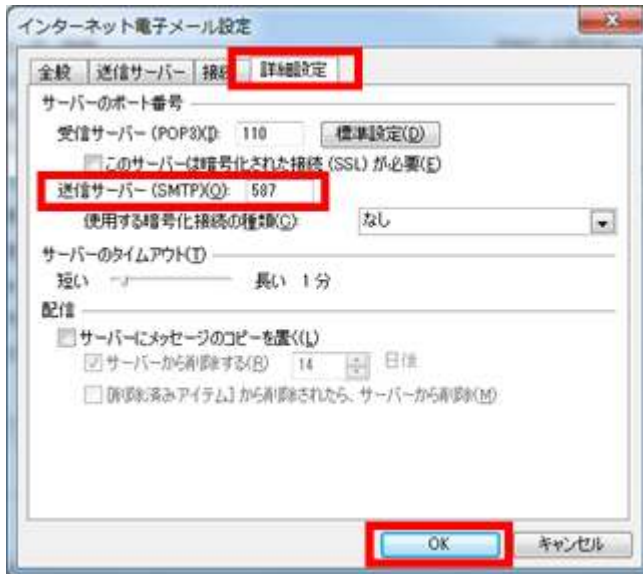
全て入力・確認ができましたら、「詳細設定」ボタンをクリックし、「送信サーバー」タブをクリックして下さい。

- 「送信サーバー」タブにて、以下のように設定されているか確認します。



- ① 「送信サーバー (SMTP) は認証が必要 (Q)」の欄
→チェックを入れます。
- ② 「アカウント名 (N)」の欄
→※『アカウント ID 通知書』内「メールアドレス」を入力します。
例) himawari@hm.aitai.ne.jp
- ③ 「パスワード (P)」の欄
→※『アカウント ID 通知書』内「パスワード」を入力します。
- ④ 「パスワードを保存する (R)」の欄
→チェックを入れます。
- ⑤ 「セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応 (Q)」の欄
→チェックを外します。

- 「接続」タブをクリックし、以下のように設定されているか確認します。



- 「サーバーのポート番号」の枠内
 - 「受信サーバー (POP3) (I):」の欄
 - 110 と入力します。
 - 「このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要 (E)」の欄
 - チェックしません。
 - 「送信サーバー (SMTP) (O):」の欄
 - 587 と入力します

「OK」ボタンをクリックして閉じます。